

## 神戸ポートオアシス

### 多目的ホール・会議室利用の皆様に（お願い）

神戸ポートオアシス管理者

#### 《新型コロナウイルス感染拡大防止のために》

新型コロナウイルス感染が終息するまでの間、神戸ポートオアシス多目的ホール・会議室を利用する皆様方に、是非守っていただきたいことがあります。

多目的ホール・会議室においては、特に、いわゆる「三つの密」（密閉空間（換気の悪い密閉空間である）、密集場所（多くの人々が密集している）、密接場面（互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や発声が行われる））と云われる感染拡大リスクが高いと考えられます。

こうした環境下において極力感染を拡大防止する観点から、次に掲げる対策を施していただくようお願いいたします。

#### 《多目的ホール・会議室の利用 共通》

- ① 公演・講演・会議中及び休憩中に複数回、多目的ホール・会議室内の換気を行ってください。
- ② 多目的ホール・会議室入口では、待機列を設置する等、できるだけ間隔を空けて整列するように呼びかけて下さい。
- ③ 公演・講演・会議の前後及び休憩中に、人が密集しないよう、順次会場に出入りさせる等の工夫を行ってください。
- ④ 会場の利用定員の半数以下の利用に努めていただき、テーブル、椅子等については、間隔をおいて設置してください。
- ⑤ トイレの混雑が予想されるので、できるだけ余裕を持った休憩時間を設定して混雑の緩和に努めてください。また、ハンドドライヤーは使用中止としております。
- ⑥ 来場者の氏名及び緊急連絡先の把握に努めてください。また、来場者に対して、こうした情報が来場者から感染者が発生した場合など必要に応じて保健所等の公的機関へ提供され得ることを事前に周知してください。なお、個人情報の保護の観点から、名簿等の保管には十分な対策を講ずるようにしてください。
- ⑦ 来場者に対し、下記事項を事前に周知してください。
  - ・ 咳エチケット、マスク着用、手洗い・手指消毒を徹底
  - ・ 社会的距離の確保
  - ・ 下記の症状に該当する場合、来場を控えること  
咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、  
眼の痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐

- ⑧ 以下の場合には、入場しないよう要請してください。
  - ・ 発熱症状がある場合（来場前の検温）
  - ・ 咳・咽頭痛などの症状がある場合
  - ・ 過去2週間以内に感染が引き続き拡大している国・地域への訪問歴がある場合等
- ⑨ 座席は原則として1席空ける等、適切に感染予防措置がとれる席配置とするよう努めてください。
- ⑩ 公演・講演・会議の運営にあたっては、必要最小限の人数としてください。
- ⑪ 感染が疑われる者が発生した場合、速やかに別室に隔離するとともに、速やかに、神戸ポートオアシス管理者、医療機関及び保健所へ連絡し、指示を受けてください。なお、対応するスタッフは、マスクや手袋の着用を徹底してください。
- ⑫ 感染が疑われる者が出た場合、保健所等の公的機関による聞き取りに協力し、必要な情報提供を行ってください。

#### 《特に多目的ホールのご利用について》

- ① 多目的ホールの入口に、手指消毒用の消毒液（原則として主催者側で用意して下さい）を設置するようにしてください。
- ② 事前に余裕を持った入退場時間を設定し、時間差での入退場、開場時間の前倒し等の工夫を行ってください。また、多人数での同時来館も避けるようにしてください。
- ③ 高齢者や持病のある方が多数来場すると見込まれる公演・講演については、感染した場合の重症化リスクが高いことから、より慎重な対応を検討してください。
- ④ チケットを対面販売する場合やグッズ販売を行う場合には、アクリル板や透明ビニールカーテンを購買者との間に設置するよう努めてください。その際、できるだけ間隔を空けて整列するようにしてください。販売員は、マスクの着用と手指消毒を徹底してください。また、多くの者が触れるようなサンプル品・見本品の取り扱いには十分に注意を払ってください。
- ⑤ ロビー、休憩スペースでの近い距離での会話を避けるように表示・放送等を行ってください。
- ⑥ 楽屋、控室では、常時換気に努めてください。
- ⑦ パンフレット・チラシ・アンケート等は極力手渡しによる配布は避けるようにしてください。

- ⑧ 座席の最前列席は舞台上から十分な距離を取り、前後左右を空けた席の配置等に努めてください。
- ⑨ 公演中、来場者同士の接触を控えていただくよう周知してください。
- ⑩ 来場者と接触するような演出（声援を求める、来場者をステージに上げる、ハイタッチをする等）は行わないようにしてください。
- ⑪ 公演の内容として、大声を発するもの、管楽器等を使用するものは、十分に注意してください。
- ⑫ 場内における会話は控えていただくよう周知してください。
- ⑬ 運営スタッフの方は各自検温を行い、37.5℃以上の発熱がある場合には自宅待機するようにしてください。また、発熱の他に、下記の症状に該当する場合も、自宅待機を促してください。  
咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、  
眼の痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐
- ⑭ 主催者は、運営スタッフの緊急連絡先や勤務状況を把握しておいてください。
- ⑮ 表現上困難な場合を除き原則としてマスク着用を求めるとともに、出演者間で十分な間隔をとるようにしてください。また、公演前後の手指消毒を徹底してください。
- ⑯ 楽屋等では使い捨ての紙皿やコップを使用するようにしてください。
- ⑰ 機材や備品、用具等の取り扱い者を選定し、不特定者の共有を制限するようにしてください。
- ⑱ 仕込み・リハーサル・撤去等において、十分な時間を設定し、密な空間の防止に努めてください。
- ⑲ その他、稽古や仕込み・撤去等においても十分な感染防止措置を講ずるようにしてください。